

## 旧上瀬谷通信施設における国際園芸博覧会の開催及び基盤整備に向けた取組状況について（報告）

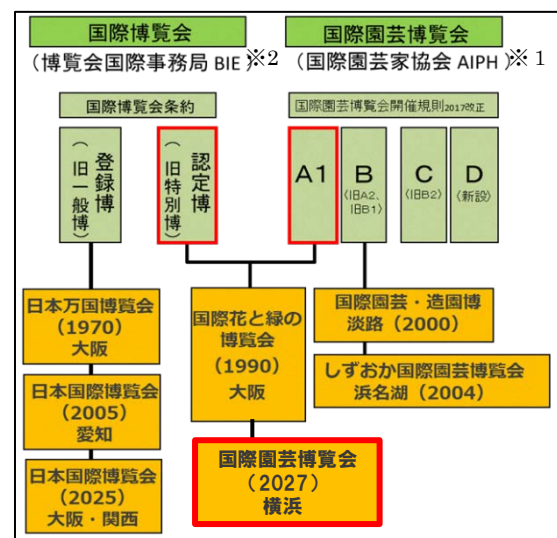
## 1 国際園芸博覧会推進事業の取組状況

## (1) 国際園芸博覧会の概要

国際園芸博覧会は、国際的な園芸文化の普及や花と緑のあふれる暮らし、地域・経済の創造や社会的な課題解決等への貢献を目的としています。

横浜で開催する国際園芸博覧会は、国家的プロジェクトとなる博覧会（A1クラス）で、国内では1990年に大阪で開催された「国際花と緑の博覧会（花の万博）」があります。A1クラスの博覧会を開催するためには、国際園芸家協会（AIPH）（※1）の承認と、博覧会国際事務局（BIE）（※2）の認定が必要です。令和元年に市がAIPHの承認を得ており、今後、国がBIEの認定に向けた申請を行います。

- ※1 国際園芸家協会（AIPH：Association Internationale des Producteurs de l'Horticulture）国際的な非営利組織で、国際園芸博覧会の承認を行う主体。日本では一般社団法人日本造園建設業協会が会員。
- ※2 博覧会国際事務局（BIE：Bureau International des Expositions）すべての国際博覧会の監督及び調整を担う政府間組織。A1クラスの国際園芸博覧会は、BIEによる認定を受ける必要がある。



## (2) 横浜国際園芸博覧会具体化検討会報告書

農林水産省及び国土交通省は、BIEの認定に向けて、国際園芸博覧会の計画案について充実すべき事項等を検討、助言するため、有識者からなる「横浜国際園芸博覧会具体化検討会」を設置しました。

検討会は、令和2年10月から令和3年3月までに計3回開催され、パブリックコメントを経て、5月に報告書が取りまとめられました。

## 【参考1】横浜国際園芸博覧会具体化検討会報告書 概要（別紙）

## 【参考2】委員名簿

(令和2年12月21日時点。氏名 五十音順。敬称略)

氏名	役職等
賀来 宏和	千葉大学大学院園芸学研究科客員教授
岸井 隆幸	日本大学理工学部土木工学科特任教授
北川 フラム	アートディレクター
隈 研吾	東京大学特別教授・名誉教授
柴田 道夫	東京大学大学院農学生命科学研究科教授
保井 美樹	法政大学現代福祉学部・人間社会研究科教授
横張 真	東京大学大学院工学系研究科教授
涌井 雅之（座長）	東京都市大学特別教授
和田 新也	一般社団法人日本造園建設業協会会長（AIPH日本代表）

## (3) 環境影響評価

横浜市環境影響評価条例に基づき、環境影響評価の計画段階配慮書の縦覧（令和3年4月5日～4月19日）を行いました。

審査会でのご意見及び市民等からの環境情報提供書を踏まえ、6月に環境創造局より配慮市長意見書が公告・縦覧される予定です。

## (4) 2027 国際園芸博覧会推進委員会

昨年11月に設立された「2027 国際園芸博覧会推進委員会」では、令和3年度中（秋以降）に予定している博覧会の開催組織（2027 国際園芸博覧会協会（仮称））の設立準備や、全国的な機運醸成等の取組を進めていきます。

令和3年度定期総会を6月に書面開催し、令和2年度の事業報告・収支決算及び令和3年度の事業計画・収支予算を審議する予定です。

## (5) 広報PR・機運醸成

ア 市庁舎公共スペースでのPR

令和3年5月1日から10月31日までの間、市庁舎1階アトリウムの大型ビジョンにPR動画を放映しています。

また、環境創造局が実施しているガーデンネックレス横浜のローズウィークと連携し、5月12日から24日までの間、市庁舎2階プレゼンテーションスペースでパネル等の展示、PR動画及び有識者インタビュー動画の放映、チラシ・ノベルティグッズの配布を行いました。



&lt;アトリウムでの放映&gt;



&lt;プレゼンテーションスペースでのPR&gt;

イ 2022年アルメーレ国際園芸博覧会日本国出展への協力

2022年4月にオランダで開催されるアルメーレ国際園芸博覧会において、横浜で開催する国際園芸博覧会の広報PRのため、日本国出展エリアの企画、設計、演出に協力します。

## 【参考3】2022年アルメーレ国際園芸博覧会の概要

会期：2022年4月14日～10月9日  
開催地：オランダ王国アルメーレ市  
テーマ：成長する緑の都市  
(Growing Green Cities)  
種別：A1クラス

## 【参考4】国際園芸博覧会（認定博）の開催状況

年	開催国（都市）	参考（登録博）
2015		ミラノ万博
2016	トルコ（アンタルヤ）	
2019	中国（北京）	
2020		
2021		ドバイ万博
2022	オランダ（アルメーレ）	
2023	カタール（ドーハ）	
2024		
2025		大阪・関西万博
2027	日本（横浜）	

2 土地区画整理事業（まちづくり）及び新たな交通の導入・周辺道路整備の取組状況

(1) 土地区画整理事業（まちづくり）

令和2年3月に策定した「旧上瀬谷通信施設土地利用基本計画」に基づき、農業振興ゾーンや観光・賑わいゾーン等の具体的な土地利用について、地権者と個別面談や意見交換等を行いながら、検討を進めています。

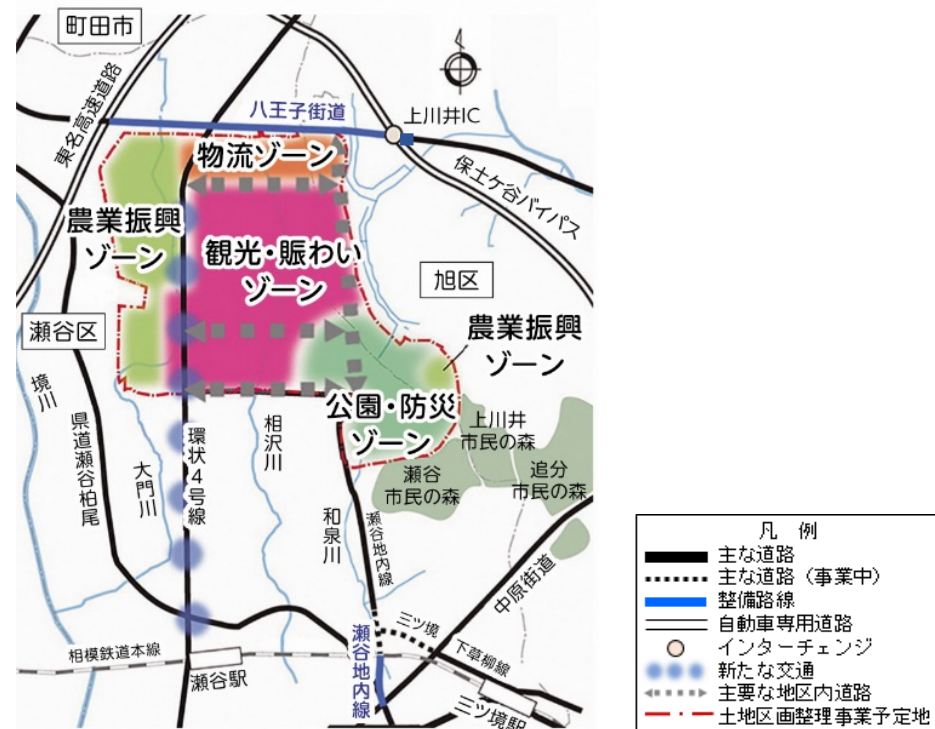
あわせて、市施行での区画整理事業実施に向け、都市計画法や環境影響評価法に基づく手続を進めており、6月に環境影響評価準備書の公告・縦覧を行う予定です。

また、桜並木のこれらについて検討を進めていくため、7月から地権者や連合町内会長、市民の皆様等で構成する「海軍道路の桜並木に関する懇談会」を開催していく予定です。今後、懇談会で意見交換を行い、桜並木再生の方針を取りまとめていきます。

(2) 新たな交通の導入・周辺道路整備

新たな交通の導入では、これまでに実施した測量や地質調査などの成果を基に、基本設計や詳細設計を進めます。あわせて都市計画法、環境影響評価条例、軌道法に基づく手続を引き続き進めていきます。

周辺道路整備（八王子街道の拡幅、瀬谷地内線の整備）では、これまでに実施した測量や地質調査などの成果を基に、詳細設計を行うとともに、用地取得を進めます。あわせて関係機関との協議を行い、都市計画法に基づく手続などを進めます。



<土地利用基本計画（土地利用ゾーン）（令和2年3月策定）>

【参考5】令和3年度以降の主なスケジュール

	国際園芸博覧会 推進事業	土地区画整理事業 （まちづくり）	新たな交通の導入 周辺道路整備
令和 3年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>●事業検討・機運醸成【市】</li> <li>●環境影響評価配慮書・方法書の公告・縦覧【市】</li> <li>●「横浜国際園芸博覧会具体化検討会」報告書の取りまとめ【国】</li> <li>●閣議了解【国】</li> <li>●BIE 協議（認定申請に向けた協議）を開始【国】</li> <li>●「2027国際園芸博覧会協会（仮称）」設立【推進委員会】</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●地権者との調整</li> <li>●設計・測量・調査の実施</li> <li>●都市計画案公告・縦覧</li> <li>●環境影響評価準備書の公告・縦覧</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●設計・測量・調査の実施</li> <li>●用地取得</li> <li>●都市計画市素案の公告・縦覧、説明会の実施</li> <li>●軌道法特許申請</li> <li>●都市計画案公告・縦覧</li> <li>●環境影響評価準備書の公告・縦覧</li> </ul>
令和 4年度～	<ul style="list-style-type: none"> <li>●BIE 認定申請、承認【国】</li> <li>●環境影響評価準備書・評価書の公告・縦覧【協会】</li> <li>●博覧会基本計画の策定、会場設計、工事【協会】</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●地権者との調整</li> <li>●環境影響評価評価書の公告・縦覧</li> <li>●都市計画決定</li> <li>●事業計画決定</li> <li>●工事実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●環境影響評価評価書の公告・縦覧</li> <li>●都市計画決定</li> <li>●軌道法工事施行認可申請</li> <li>●用地取得</li> <li>●工事実施</li> </ul>
令和9年 3月	国際園芸博覧会の開催		